やさしいことばガイド

デュエット

——アジアン・コンテンポラリー展

会期：2026/9/30［水］—2027/1/17［日］

このガイドは、いろんな人が読めるように、
やさしいことばで書いています。



この展覧会について

この展覧会は、2018年におこなった「アジアン・コンテンポラリー」展のつづきです。今回は、日本と中国の6人のアーティストが作った、写真や映像の作品を紹介します。

「デュエット」とは、「2人でいっしょに音楽を演奏すること」です。
この展覧会は「デュエット」のように2人で作りました。一人は中国の写真ギャラリーのディレクター、テン・チンユンさんです。もう一人は東京都写真美術館の伊藤貴弘学芸員です。展覧会では、今を生きるアーティストたちが、世界を見つめた作品が並んでいます。作品を見たとき、あなたの中にはどんな気持ちが生まれるでしょうか。作品と、そこから生まれるあなたの感じかた。その出会いも「デュエット」になります。

新しい出会いを、ぜひ楽しんでください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

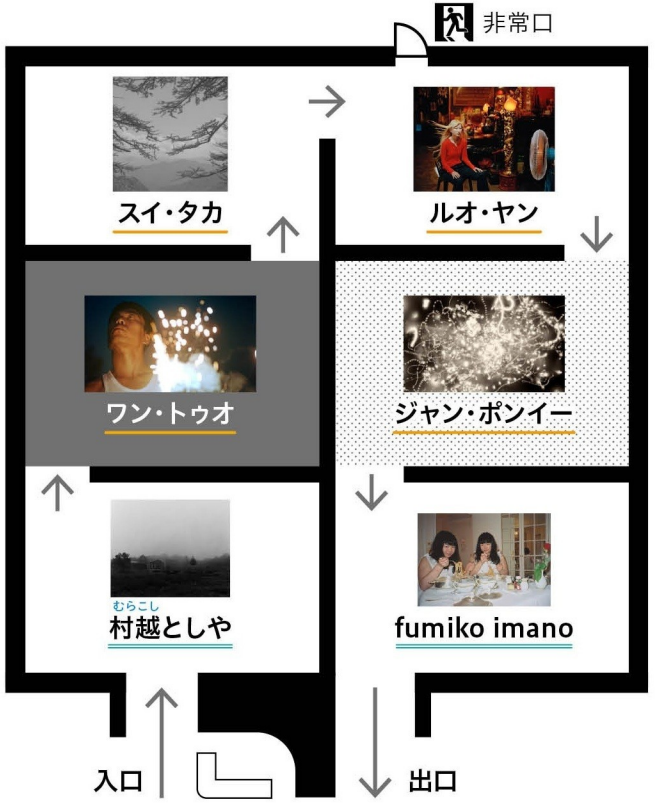
専用アプリでガイドの内容を聞くことができます：**音声コード Uni-Voice** ▶

会場の案内［2階］

6人の作品を1部屋ずつ展示しています。

入口から矢印（↑）の方向へ順番に進んでいくと、出口です。

※同じ日なら何度でも入れます。入口でチケットを見せてください。



■：暗い部屋です。
映像作品を展示しています。

▨：少し暗い部屋です。

会場には、椅子の置いてある部屋もあり、座って作品を見ることができます。

中国のアーティスト

今回初めて、日本の都道府県が運営する美術館で作品を展示します。

日本のアーティスト

東京都写真美術館で作品を展示するのは、今回が初めてです。

展覧会の楽しみかた

じっくり観察してみよう

- 気になる作品があったら、「どこが気になるのかな？」と考えながら、時間をかけてじっくり見てみましょう。
- 6人のアーティストは、世界をいろいろな見かたで見つめています。一人ひとりの「見かたや感じかた」を楽しんでみてください。

展覧会をもっと楽しむ

展覧会ページ

- **学芸員によるギャラリートーク**
- **シンポジウム**
- **手話通訳や文字表示つきイベント**

くわしくはウェブサイトの展覧会ページを見てください。

図書室［4階］

展覧会に関係ある本や写真集、国内外の雑誌などを集めています。だれでも自由に見ることができます。

図書室ガイド

ミュージアム・ショップ［2階］

展覧会の図録（本）やグッズ、ここでしか買えないオリジナル商品を販売しています。



休める場所［2階］

2階のロビーに休める場所があります。

バリアフリー・アクセシビリティ情報

東京都写真美術館は、だれでも楽しくすごせる場所をめざしています。美術館でできること・貸出できるものなど、くわしくはウェブサイトを見てください。

だれでも TOP

サポートします

こまったことや分からないことは、1階「総合受付」のサポート・スタッフに聞いてください。

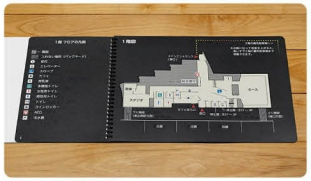


バッジをつけています

借りることができます



筆談ボード



触知案内図



センサリーキット

みんなにやさしい、みんなの美術館

オール・ウェルカム・デー



ボランティアのサポートで展覧会を楽しく見てみませんか？ 予約もできます。

障害があってもなくても、だれでも利用できます。

※作品の解説ではありません。※気持ちを落ち着けて過ごせる場所もあります。

日付：2026年10月4日［日］、11月28日［土］、
12月5日［土］、2027年1月11日［月・祝］

時間：どの日も13:30〜17:00（受付16:30まで）

オール・ウェルカム・デー

◀ **音声コード Uni-Voice**：専用アプリでガイドの内容を聞くことができます